

簡易保温踏み込み消毒槽

～冬季でも凍らない消毒槽～

(独) 家畜改良センター茨城牧場長野支場

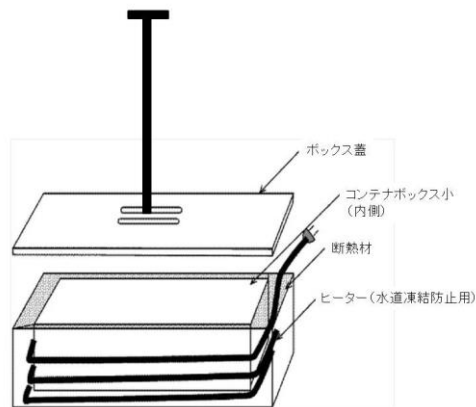
寒冷地では、冬季になると消毒踏み込み消毒槽の薬液が凍結する場合があります。そうなってしまうと、毎朝の氷を取り出す作業や、追加の薬液が必要になります。また、凍った薬液で転倒するおそれもあり、大変危険です。

一般的に凍結防止用の保温マットも販売はされていますが、高価であるため、導入コストが高くなります。そこで、ホームセンターなどで購入出来る材料で簡易保温踏み込み消毒槽を作成しましたのでご紹介します。

1, 材料

- ・ コンテナボックス×2 (大小1個ずつ)
- ・ ヒーター (水道凍結防止用)
- ・ 断熱材
- ・ 発砲ウレタン

2, 構造



3, 作成方法

- ① 小さなコンテナボックスに水道凍結防止用のヒーターを巻き付けます。
- ② ヒーターを取り付けたコンテナボックスを、大きなコンテナボックスにいれ、隙間に断熱材を挟み込みます。
- ③ ヒーターのコンセントを外側に出し、コンテナボックス同士の隙間を発砲ウレタンで埋めていきます。
- ④ 必要に応じて、持ち手を付けます。



4, 効果の検証 (検証期間；平成 27 年 11 月～3 月)

① 耐久性

当場内の山羊一般飼養管理作業時の長靴等の消毒に使用したが、破損等は見られませんでした。

② 耐凍性

最低気温が -8.6°C の環境下において、簡易保温踏み込み消毒槽では薬液の凍結は見られませんでした。それに対して、無加温の踏み込み消毒槽では薬液の凍結が見られたため、一定の耐凍性が得られることが分かりました。



左；無加温 右；簡易保温踏み込み消毒槽

③ 費用

今回は、コンテナボックスや水道の凍結防止用ヒーターといったホームセンターなどで購入出来る資材を使用したことで、製作経費は1個あたり約9,000円となりました。従来の保温マット（約36,000円）に比べて、導入費用を約4分の1に削減することが出来ました。

【お問い合わせ】

(独) 家畜改良センター茨城牧場長野支場種苗業務課 (担当；岡部、田中)

〒385-0007 長野県佐久市新子田 2029-1

TEL:0267-67-2501 FAX:0267-68-4743

HP: <http://www.nlbc.go.jp/nagano/> E-mail: nlbc_nagano@nlbc.go.jp